

子どもたちに勉強の意味・価値・大切さを伝えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

天候が不順です。皆さんにはお身体に気をつけてお過ごしいただきたいと思います。

2. 私は勉強が足りませんので、お誘いがあるといろいろな勉強会や研究会に出させていただきます。先週の土曜日、11月22日には足利市にある巖華園の2階の小さな会議室に12名の方々が集まり、今盛んに読まれている「地方消滅」と「里山資本主義」という本をもとに勉強会をしました。「地方消滅」は中公新書で、前の岩手県知事で、総務大臣も務められた増田さんが書かれたものです。「里山資本主義」は藻谷さんが書かれた本です。これから何十年も経つと人口はどんどん減っていき、最終的には消滅する地方も出てくる。そのような中でどのように過ごしたらよいかという具体的な取り組みが示されているのが、角川新書の「里山資本主義」です。これら2冊の本について12名で分担し、「このような内容が書かれているが、これから先どのように考えたらよいか」という議論をしました。

この勉強会を主催なさったのは、商工中金足利支店長をされていたうえしまさんです。この方には私も大変お世話になりましたが、私を含めた12名の知り合いが集まり、それぞれの分担について発表し合ったり、各々の考えを広め合ったりしました。いろいろな考えがありますが、地方の独自性を出しながら来るべき人口減少社会に備えなければならないということでは意見が一致しました。大人の勉強として、このようなことも皆さんといっしょに考えていきたいと思います。

3. さて、この番組は学習について考えるものです。そこで、それに関連したお話を少しいたします。高校入試や大学入試に臨む受験生の皆さんは、自分の行きたい学校への合格を目指して眠る時間以外は机に向かっていることと思います。この言い方はやや大袈裟かもしれませんが、そのくらいの勢いで学習に励んでいるのではないのでしょうか。

一方、これまで行ってきた勉強は一体何だったのだろうか・今行っている受験勉強には何の意味があるのだろうか・進学後に行う勉強は何になるのだろうかなどの疑問を持って勉強している方も多いと思います。

4. 受験生が今行っている勉強は単に希望校に合格するためだけのものだと本気で考えてしまうと、入試が目的になり、終わった瞬間にそれまでの勉強の意味や価値がなくなってしまいます。そのた

め、勉強に対する興味・関心・意欲を失い、元の本阿弥(もとのもくあみ)になって学力がどんどん落ちてしまいます。これが一般的です。

高校入試や大学入試の直前には一つの所で命を懸けるという意味の「一所懸命」に学んで学力をかなり身に着けても、入試に合格するためだけの勉強と思い込んでいると、高校入学後も大学入学後も一切とは言わないまでもほとんど勉強しなくなり、学力が低下して元に戻ってしまいます。

5. ではどうしたらよいかと言いますと、できれば今やっている受験勉強の意味や価値・これまで勉強してきたことの意味・上の学校に進学してから行う勉強の意味や価値・大切さなどを自分でよく考えた上で、取り組んでいただければと思います。何のために勉強するのか・今までの勉強にはどんな意味があるのか・今やっている勉強の意味は何か・上の学校でも勉強はどんな意味を持つのか・勉強の大切さや価値は何かなどは、中学生や高校生にはなかなかわかりにくいです。ですから、放送をお聴きの皆さんには、御自分の経験をお子さんに語っていただきたいと思います。例えば、中学校や高校で学ぶ内容は人生にとってこのような意味があるのだよ・社会に出てからこんな形で役立つこともあるんだよということを語っていただきたいのです。

6. 子どもたちは人生経験がかなり少ないので、自分のやっている勉強が入学試験にしか役立たないのではないかと感じてしまう場合が多いです。また、このように言うのは失礼になるかもしれませんが、いろいろところで大人がそのようなことを子どもたちに言う場合もあります。開倫塾では、それを絶対に口にしないようお願いしています。例えば、「受験勉強は社会に出てから役に立たない」「中学校や高校で勉強したことは世の中で役に立たない」「英語なんか勉強しても何の役に立つか」などという話を大人が始めますと、子どもは勘違いしてそのように思い込んでしまいます。ですから、そのようなことは子どもたちに伝えないようにお願いします。

7. 反対に、中学校の勉強や高校の勉強はすればするほど人生の選択肢が多様になる・多様な人生を送る上での素晴らしい手段の一つになる・内面が充実して豊かな人生が送れるということを子どもたちに伝えていただきたいと思います。そうすると、子どもたちは勉強するきっかけを自分なりにつかむことができます。そして、勉強が役立つことがわかれば、自分はこれからどうしようということが考えられ、このようなことはやってもよいが、これはしないほうがよいという自分なりのルールを決められると思います。

8. 受験生であっても、スマホやゲームに熱中する人がいます。その人は勉強の意味や価値がわかっていないことが多いです。ですから、人生の経験を積まれている放送をお聴きの皆さんが、勉強の意味や価値をお子さんに伝えていただけるようお願いいたします。勉強の意味や価値がわかれば、それを宝物のように大切にしてお人生を過ごせると思います。本当の社会教育とは大人の皆さんが子どもたちにこのようなことを伝えることだと思いますので、どうか御指導をよろしく願いいたします。